

E620（現像補充動作異常）が発生した時の対応手順

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

サービス統括部

2023年4月3日

内容詳細

始業時の電源投入で必要な現像補充動作を行います。その時に動作異常があった場合にE620が発生します。

確認事項

- ①電源スイッチの入れ直してみる
- ②補充ポンプの音をかくにんする
- ③電源スイッチの入れ直し（繰り返し）
- ④電導度センサーのケーブル状態を確認
- ⑤補充タンクのノズル浮きと現像補充ホースに折れが無い事を確認
- ⑥現像補充液と現像水補充液のノズル詰まり、補充筒の詰まりが無い事を確認

確認手順

このアラームは、電源スイッチをOFFにする事で解除されます。

注意

保護メガネ、ゴム手袋、ゴムエプロンを着用してください。

①電源スイッチの入れ直してみる



機器の電源スイッチを切って10秒ほど待ってから、電源を入れ直します。

注意

電源スイッチを操作する時は、濡れた手で触らないでください。



初期化動作が完了したら、運転キーを押します。

エラーが発生せず『ジュンビチュウ』から『ショリOK』になりましたら、そのまま使用してください。

再度E620が発生する場合は、②へ進みます。

注意

これ以降の作業には、保護メガネ、ゴム手袋、ゴムエプロンの着用が必要です。

②補充ポンプの音を確認する



起動中に、機械の下の方（写真の赤丸付近）から、タカタと音が鳴っているか、確認します。

音が鳴っている場合は、機械の故障が疑われます。コールセンターへ連絡して頂き、障害内容は『E620-A』とお伝えください。音が鳴っていない場合は、③へ進みます。

③電源スイッチの切/入を繰り返してみる



②で音が鳴っていない場合は、複数回電源スイッチを入れ直してください。5回程度の繰り返しでエラーが解消した場合は、そのまま使用してください。解消しない場合は、④へ進みます。

注意

電源スイッチを操作する時は、濡れた手で触らないでください。

④電導度センサーのケーブルを確認する



ACセンサーは、版の挿入口から見て右側のカバーの中に有ります。



センサーケーブルの根元を見てください。ケーブルの被覆が破れて電線が剥き出しになっている場合は、部品交換が必要です。コールセンターへ連絡して頂き、障害内容は『E620-B』とお伝えください。

ケーブルに異常が無い場合は、⑤に進みます。

⑤現像補充タンクのホースを確認



補充タンクを手前に引き出します。



このホースが折れていない事を確認

現像補充タンクの奥側から出ている、赤いビニールテープが巻かれたホースに、折れや曲がりがない事を確認します。

ホースが折れていたり、潰れている場合は、該当部分を修正します。



ホースの差し込まれているノズルが、きちんとセットされている事を確認します。ノズルが浮いている場合は、修正してください。



ホースやノズルの問題が解消しましたら、外したカバーなどを戻してから電源を入れます。エラーが発生しなければ、そのまま使用してください。エラーが解消しない場合は電源スイッチを切り⑥へ進みます、

注意

電源スイッチを操作する時は、濡れた手で触らないでください。

⑥現像補充液と現像水補充液のノズル詰まり，補充筒の詰まりが無い事を確認



版の挿入口から見て、右側のカバーを開けます。



現像フィルターの後ろに有るノズル部分を確認します。



ゴムキャップを取り外します。
外したゴムキャップは紛失しないように注意してください。



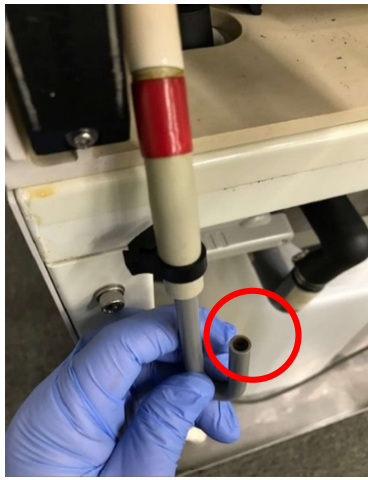
筒に引っ掛かっているノズルを、2本とも外します。

注意

ノズルの口から液が垂れる場合があります。



外したノズルにはホースが繋がっています。ホースが抜けないように注意してください。



ノズルの口に異物が詰まっていたら、細い棒などで除去します。
ノズルは2本とも確認してください。



ノズルが掛かっていた筒の中も確認してください。筒の中に白い塊があった場合は、細い棒などで、塊を崩して除去します。



作業が終了したら、機器を元に戻して電源を入れます。シヨリOKの状態になりましたら、そのまま使用してください。

エラーが解消しない場合は修理が必要です。コールセンターへ連絡して頂き、障害内容は『E620-C』とお伝えください。